はじめの一歩

3月 30 日(月)　～　3月31 日(火)

IN　明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
１日目	施設までハイキング	屋内遊び、浜遊び	キャンドルファイア
２日目	朝食作り・清掃	野外炊飯・片付け・解散	

一日目：　一泊二日のキャンプが始まりました。今回は当初の予定を変更し、各集合場所からバスに乗って施設へ向かいました。バスの中はとても賑やかで、みんなのワクワクした気持ちが伝わってきました。施設に全員が集まり、グループごとにお弁当を食べながら自己紹介をしました。昼食後、施設の使い方を職員さんから教わり、その後みんなで「自己紹介ゲーム」をしました。ゲームを通してグループの友達の顔や名前を覚え、少しずつ緊張が解れたようでした。そして、更にグループの仲を深めるべく、浜遊びを行いました。ここでもグループ対抗ゲームを行い、二日目のカレー作りの「おまけ」を競い合いました。どのグループも接戦となり、みんなが全力で取り組む姿が印象的でした。浜から戻り、夕食の焼きそばを食べました。全グループが残さず完食し、おかわりをするメンバーも多かったです。お腹を満たした後は、夜のメインプログラムであるキャンドルファイヤーをしました。リーダーが考えた幾つもの遊びを、息が切れるほど思いっきり楽しみました。その後は、入浴と荷物整理、ベッドメイキングなどを行い、就寝時間になりました。興奮の為、目が冴えてしまうメンバーもいましたが、いつの間にか眠りについておられました。

二日目：　二日目の朝、「おはよう!」という元気な声が廊下に聞こえてきました。シーツや毛布を協力して畳み、身支度を整えたら、まずは朝食です。かまどを囲み、パックドッグの焼き上がりを待ちきれない様子で見守っておられました。朝からお腹いっぱい食べ、一日のエネルギーをチャージしました。朝食後は部屋に戻って清掃をしました。『来た時よりも美しく』と、お世話になった施設へ感謝の気持ちを込めて行いました。二日目のメインプログラムは野外炊飯、メニューはカレーです。炊飯場に集まると、グループごとに野菜係とかまど係に分かれて調理に取り掛かりました。野菜係は食材の皮をむき、細かく切っていきます。注意深く刃物を扱う表情はとても真剣でした。かまど係は、説明を熱心に聞き、薪を組んで火おこしに挑戦しました。火を絶やさぬよう、各グループで工夫を凝らす様子が見られました。また、一日目のレクリエーションで獲得した食材をカレーのトッピングに使うか、隠し味に使うかなど、各グループで話し合う姿はとても楽しそうでした。いつもとは一味違うカレーを美味しそうに頬張り、お鍋の中身はあっという間に空っぽになりました。食後の片付けでは、細かい汚れも丁寧に落とし、食器や道具をピカピカにしました。そして、最後はみんなで「まったね～!」と言い、二日間のキャンプを締めくくりました。帰りのバスでは、仲を深めた友達やリーダーとの会話を楽しみ、行きの車内とはまた違った活気がありました。

＜キャンプ総括＞

昨今の厳しい状況下において、『はじめの一歩』への参加をご決断いただき、深く感謝申し上げます。普段とは違う環境で、初めて会う友達やリーダーと過ごす二日間。初日にグループで協同してレクリエーションを楽しみ、二日目の野外炊飯では、役割を分担し、一人ひとりが責任をもって行動する様子や、他にできることはないかと考え率先して動く姿が見られ、この二日間の成長を感じました。まだ、大人数の活動は制限される状況ではありますが、またいつかキャンプや日帰り活動でお会いできる機会を楽しみにしております。　（生田　千恵）

大変な時期にも関わらず、今回の『はじめの一歩』にご参加いただき本当にありがとうございました。何事もなくキャンプをやり切ることができ、本当に嬉しく思います。初めての体験に緊張するメンバーもおられましたが、二日間のプログラムを通して、グループの友達やリーダーと徐々に仲を深め、グループ全員で取り組もうと頑張る姿がたくさん見られました。今回の“はじめて”の経験を生かし、これからも様々な場面で「お兄さん」「お姉さん」の姿を見せてほしいと思います。重複致しますが、二日間、本当にありがとうございました。　（西中　透子）